

2013年5月 No.18 一ひとりで悩まず困った時は、お電話を ひょうご震災復興借上住宅協議会

電話 078-371-5789 (FAX可)



キャナル懇談会(兵庫区)に60名!

「公平・平等」といいながら、 不平等を持ち込む自治体の「入居基準」

県も市も「借上げ住宅」問題では、常に居住者間の平等や公平を口にしな がら、県、神戸、西宮、ばらばらです。阪神淡路大震災被災者を「住み続けら れる人」と「転居しなければならない人」に分断するのは不公平のきわみで す。「被災者間に不平等な扱いがあってはならない。」これが原点です。

何の根拠もない 「年齢」や「障害」での線引き

3月末に提示された県や市の「基準」なるものは、 すべてばらばらで、震災から18年経過してなお、 被災者に苦しみを押し付けています。80歳 や85歳という年齢で線引きすることに 何の根拠もありません。また、要介 護者や重度障害者への配慮と称す る対応は、自立困難者だけを孤立 させる施策であり、培ってきた住 民同士のコミュニティをずたず たにする残酷な政策です。

同じキャナルタウン なのに 80歳、「県営」は残り 「市営」は転居?

20年という「期限」が2年後 というキャナルタウンは、県営 住宅に住む80歳以上の人は残れ るが、市営住宅の住民は85歳以上 という。同じ地域にすみながら、行政 の勝手な線引きで、残れる人と退去する 人に分断される。こんな馬鹿な事があるか と怒りが広がっています。先般、4月28日に開か れたキャナル懇談会には60名の住民が参加し、テレ ビ朝日(東京)が取材に入りました。(関東地方で放 ▲

▶ 映される予定)

この懇談会で、神戸市や兵庫県の「基準」にたいし、 「同じキャナルタウンに住みながら、県と市で条件が 違う、なんでやねん」と、厳しい批判の声が上がるな ど真剣な意見が交わされました。参加した住民 から自信が持てた。すっきりしました。」と いう感想も聞かれ、「希望者全員が残れ るようみんなで頑張ろう」と励ましあ う集会になりました。

灘区連絡会も盛会

また、灘区でも、27日に懇談 会が開かれ44名の住民が参 加し、ここでも、「六甲再開発 地域への一定の配慮は運動の 成果だが、市が買い上げで永 住できるよう運動をさらに強 めたい」と決意を固めています。

西宮は市長に要請文

西宮市の日本共産党議員団は、4月 16日、市長に要請文を提出し、「宝塚 や伊丹市が希望者の継続入居を認めて いるのに、西宮は市の都合を押し付け、唯一、

継続入居を認めない」と激しく批判し、市の出した 提案の撤回と入居者を含めた検討委員会の設置などを 要請しています。



メーデー署名